鈴鹿川水系　内外水統合型の水害リスクマップ
【現況河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示

1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1／10、1／30、1／50、1／100、1／150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深 50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況の鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河道、洪水調節施設及び雨水排水施設の整備状況を勘案して、年超過確率1／10、1／30、1／50、1／100、1／150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／10（10%）、1／30（3%）、1／50（2%）、1／100（1%）、1／150（0．7%））の降雨に伴う洪水により鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河川・下水道が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

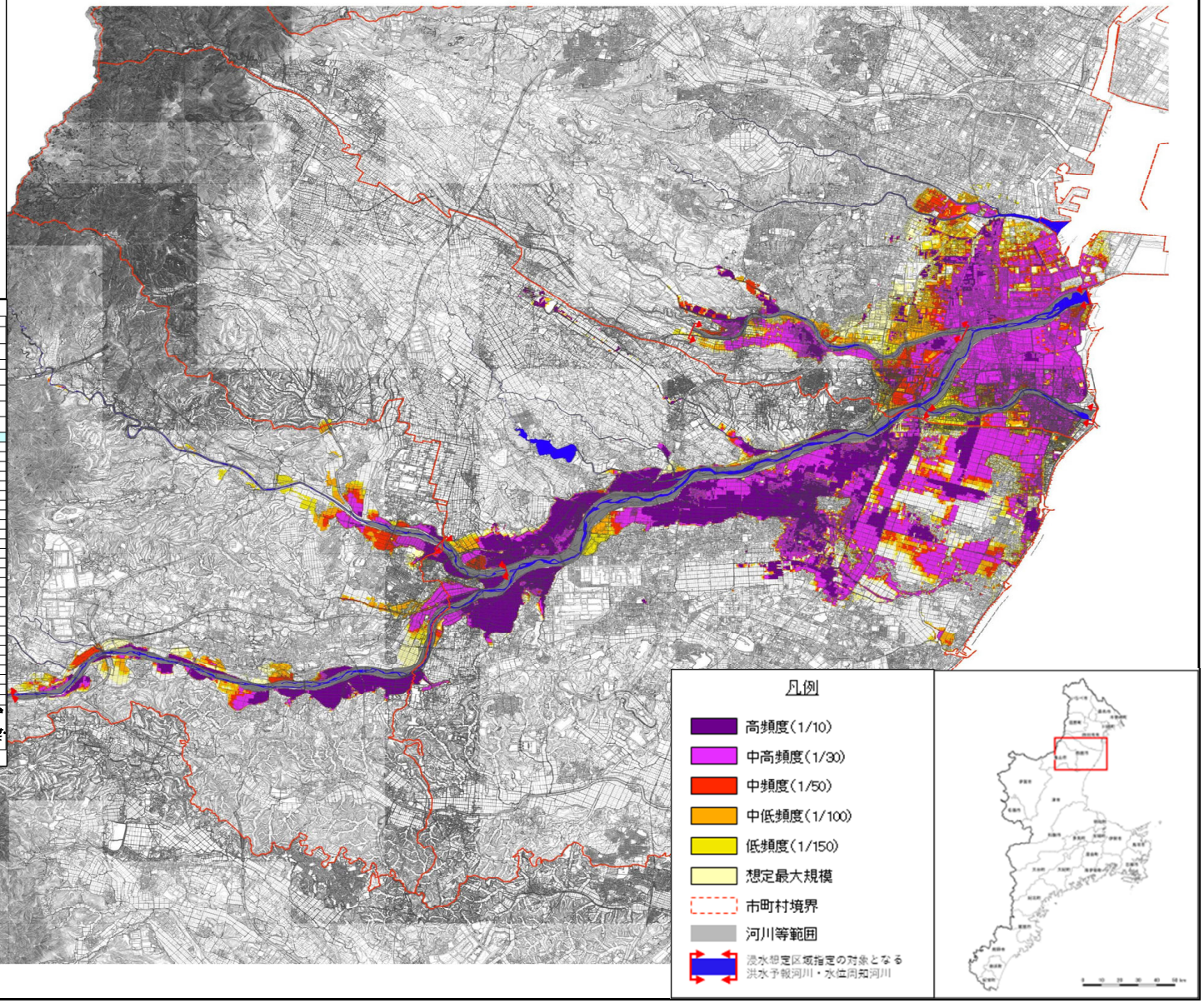
（3）このシミュレーションの実施にあたっては、高潮による氾濫を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。
　また、下水道からの氾濫は、塩浜地区、楠地区、河原田地区、内部地区、東御幸地区、金沢地区を考慮していますが、雨水出水浸水想定区域図とはシミュレーション条件が異なるため、雨水出水浸水想定区域図とは異なる浸水範囲・浸水深・浸水継続時間となっています。なお、このシミュレーションは、鈴鹿川水系河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（鈴鹿川中下流・鈴鹿川派川：平成7年5月型、鈴鹿川上流：昭和28年9月型、内部川：昭和40年9月型、安楽川：昭和36年6月型）や三重県洪水浸水想定区域図検討時の計画規模での降雨波形、各河川流域・下水道排水区域の特性・被害リスク等に基づいて設定した降雨波形等を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

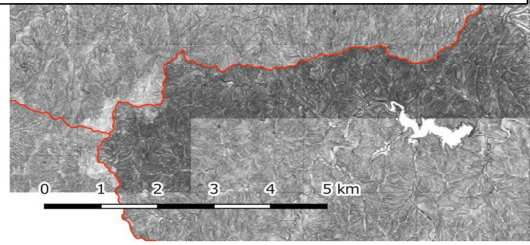
（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）	公表年月日	令和6年3月31日
（2）	作成主体及び対象となる河川	作成主体：国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 対象河川：鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川、後川、天白川、香川、鈴鹿川、椋山川、後川、芳川、電川、横川、小滝川、柳川、小滝川、見見川、橋谷川、金沢川
（3）	洪水浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川・水位周知河川	鈴鹿川水系鈴鹿川 鈴鹿川水系鈴鹿川現況川	起点：三重県鈴鹿市国府町字平野谷41番地先から下流まで 右岸：三重県亀山市関町字新所1番地先から下流まで ※鈴鹿川からの氾濫点から除外
		鈴鹿川水系鈴鹿川現況川	起点：三重県鈴鹿市安塔町字小田字中口387番地先から鈴鹿川への合流点まで 右岸：三重県鈴鹿市安塔町字小田字中川原341番地先から鈴鹿川への合流点まで
		鈴鹿川水系鈴鹿川	起点：三重県亀山市関町字新所1140番地先から鈴鹿川への合流点まで 右岸：三重県亀山市関町字平野字小田277番地先から鈴鹿川への合流点まで
		鈴鹿川水系鈴鹿川	起点：三重県亀山市白木町字中島346番地先のT字路から鈴鹿川への合流点まで 右岸：三重県亀山市白木町字中島346番地先のT字路から鈴鹿川への合流点まで
		天白川水系天白川	起点：三重県鈴鹿市安塔町字小田字口まで 右岸：三重県鈴鹿市安塔町字小田字口まで
（4）	浸水の原因となる降雨	年超過確率1／○の流域全体の降雨	1／10	1／30	1／50	1／100	1／150
		鈴鹿川水系鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川（国管区間）	163mm/6hr	196mm/6hr	211mm/6hr	240mm/6hr	258mm/6hr
		鈴鹿川水系鈴鹿川	114mm/3hr	144mm/3hr	167mm/3hr	175mm/3hr	186mm/3hr
		天白川水系天白川	79mm/3hr	89mm/3hr	97mm/3hr	107mm/3hr	115mm/3hr
		鈴鹿川水系鈴鹿川（設定区間）	111mm/3hr	136mm/3hr	151mm/3hr	168mm/3hr	180mm/3hr
		鈴鹿川水系内部川（設定区間）	112mm/3hr	139mm/3hr	151mm/3hr	167mm/3hr	176mm/3hr
		鈴鹿川水系安楽川（設定区間）	111mm/3hr	140mm/3hr	158mm/3hr	174mm/3hr	187mm/3hr
		鈴鹿川水系後川	57mm/hr	83mm/hr	90mm/hr	99mm/hr	106mm/hr
		鈴鹿川水系鈴鹿川	66mm/hr	77mm/hr	88mm/hr	99mm/hr	99mm/hr
		鈴鹿川水系鈴鹿川	65mm/hr	77mm/hr	88mm/hr	88mm/hr	99mm/hr
		鈴鹿川水系鈴鹿川	65mm/hr	77mm/hr	88mm/hr	99mm/hr	99mm/hr
		鈴鹿川水系芳井川	102mm/3hr	132mm/3hr	147mm/3hr	167mm/3hr	180mm/3hr
		鈴鹿川水系電川	66mm/hr	90mm/hr	102 mm/hr	123mm/hr	123mm/hr
		鈴鹿川水系鈴鹿川	66mm/hr	90mm/hr	102mm/hr	123mm/hr	123mm/hr
		鈴鹿川水系小滝川	66mm/hr	90mm/hr	102mm/hr	123mm/hr	123mm/hr
		鈴鹿川水系柳川	67mm/hr	83mm/hr	90mm/hr	99mm/hr	106mm/hr
		鈴鹿川水系小滝川	67mm/hr	83mm/hr	90mm/hr	99mm/hr	106mm/hr
		鈴鹿川水系見見川	96mm/3hr	124mm/3hr	137mm/3hr	165mm/3hr	168mm/3hr
		鈴鹿川水系橋谷川	104mm/3hr	127mm/3hr	139mm/3hr	162mm/3hr	161mm/3hr
		金沢川水系金沢川	94mm/3hr	120mm/3hr	133mm/3hr	161mm/3hr	168mm/3hr
		下水道等（塩浜地区）	189mm/12hr	221mm/12hr	240mm/12hr	264mm/12hr	273mm/12hr
		下水道等（楠地区）	191mm/12hr	214mm/12hr	227mm/12hr	244mm/12hr	259mm/12hr
		下水道等（河原田地区）	218mm/24hr	265mm/24hr	290mm/24hr	322mm/24hr	340mm/24hr
		下水道等（内部地区）	67mm/hr	83mm/hr	90mm/hr	99mm/hr	106mm/hr
		下水道等（東御幸地区）	66mm/hr	90mm/hr	102mm/hr	123mm/hr	123mm/hr
		下水道等（金沢地区）	94mm/3hr	120mm/3hr	133mm/3hr	161mm/3hr	168mm/3hr
（5）	河道等条件	堤防（河道・洪水調節施設・下水道施設）	
（6）	調査年度	令和2年、令和3年、令和4年	
（7）	その他計算条件等	①この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一級・二級河川）・下水道等（雨水河川、谷道河川、各種排水路）で氾濫・被害した場合の浸水想定範囲を図示しています。 ②この図は、鈴鹿川水系の河川の背口から上流において、一定の条件で氾濫・被害をかたとの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。 ③氾濫計算は、対象区間を約25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。 ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の最大浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や地盤土質連続（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して調整しています。	

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。





この地図の作成に当たっては、三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合発行の「2017三重県共有デジタル地図」を使用した。（承認番号 三総合地第１４号）